

会 報 <第410号>

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



発行日 令和 元年12月 1日

<目 次>

- I ご挨拶 『文化の継承と発展』 ……2～3頁
(一社)兵庫県建築会 副会長 大木 弘恵
(株)大木工務店 代表取締役社長)
- II 花だより 『第91回明石公園菊花展覧会』 ……3、5頁
- III 会員寄稿 『田園の唄・三木鉄道』 ……4～5頁
(株)岡工務店 取締役副社長
岡 澄彦氏 ((一社)兵庫県建築会 理事)
- VI 見学レポート 『ひょうごの景観ビューポイント150選』 ……6～8頁
播磨エリア 三木市 : 湯の山街道界隈
NO.16 芝町公民館付近、NO.17 旧湯の山街道の大塚薬師堂前
- V お知らせ 会員の受章、兵庫県表彰、行事案内、事務局だより ……9～11 頁
広報コーナー (三田建設技能研修センター)
(住宅再建共済制度)



ひょうごの景観ビューポイント150選
播磨エリア NO.16 三木市



<ビューポイント>
芝町公民館付近
<見えるもの>
旧湯の山街道の古いまちなみ
<PRポイント>
湯の山街道には昔ながらの家屋が
点在します。

※上のQRコードは150選案内
※関連記事を6～8頁に掲載)

I ご挨拶 『文化の継承と発展』 (一社)兵庫県建築会 副会長 大木 弘恵 (株)大木工務店 代表取締役社長)

平素は建築会の運営にあたり、皆様から大変なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



さて、今年も、あと1か月をきるところまでに押し迫ってまいりました。皆様も、師走となり、何かと気ぜわしく感じられていることと存じます。そのような年末に際しまして、令和元年となりました今年を少し振り返ってみたいと思います。

先ずは、本会の主要事業の月例会の運営にあたってお礼を申し上げたいと思います。毎回多彩に講師をお招きして、貴重なお話をお聴きしています。殊に7月は豊岡市長様のご講演でコウノトリの自然復帰や芸術文化の育成にける情熱には驚きと感動を覚えました。

他にも「伊能忠敬」「ミャンマー」「マレーシア」と歴史的、国際的なご講演に本当に多くのご参加をいただきました。これからも、「新春交流会」を始め「環境問題」、「日本文化の歴史的特質」の講演会を開催しますので、ご参加をお待ちしています。

そして、本年最大の慶事は何と申しまして5月1日の新天皇ご即位に伴い、元号が平成から令和に改められ、即位の儀式が執り行われたことに尽きます。10月22日には「即位礼正殿の儀」が厳かに執り行われ、ご即位を公に宣明されました。その饗宴の儀には195か国の国家元首らをお迎えし、世界からのご祝福を受けられました。

11月10日の「祝賀御列の儀」のパレードでは、雲一つない青空が広がる中、沿道を埋め尽くす国民の祝福を受けられる両陛下のお姿に神々しさを感じ、また穏やかな笑顔に国民への慈しみを感じとれました。また、両陛下におかれても国民からの信頼と愛をお感じになられたことと思います。

この「令和」の決定にあたり、首相談話によりまず「春の訪れを告げ見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりがそれぞれの花を大きく咲かせることが出来るそうした日本でありたい」との願いを込められています。

その由来は初めて日本の古典「万葉集」から引用され、最初の元号「大化」から248番目となり、連綿と続く元号に、単なる数字では表せない日本の文化の奥深さを感じています。

これらの儀式を通じ、天皇と共にある日本の文化を誇らしく感じた次第です。

また、スポーツの世界でも誇らしい日本を内外に発信いただきました。この度の“ラグビーワールドカップ2019”は、アジアでは初めての開催で、観客動員数は約170万人、予選リーグ全勝で初のベスト8と、国中が感動と熱狂の渦に巻き込まれ、私までもが、すっかりラグビーファンになりました。それに加えまして、バスケット、陸上、水泳、スケート、卓球等々本当に若い力が世界へ飛躍し、科学等学問の世界でもノーベル賞を毎年のように受賞されています。

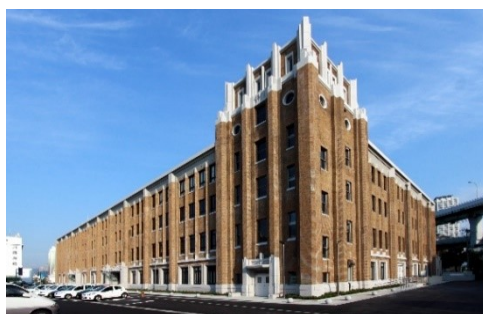
文化、スポーツ、学問と世界に発信する素晴らしい時代を迎えていることを心から慶びたいと思います。

ところで私事となりますが、建築文化の継承について、さる10月に神戸商工会議所女性会で「大木工務店の72周年の歴史」をプレゼンすることとなり、弊社が関わりました本会第3代会長置塩章様の作品の一つ「旧国立生糸検査所」の改修事業を報告いたしました。

改修の趣旨は、神戸経済の一つの拠点であった施設を、「一時代を築いた街や文化を継承し、新しい価値を生み出す創造の場を提供する『デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:「K I I T」)』に改修」するものでした。元の風合いを残しながらの耐震を含む改修は非常に厳しい事業でしたが、その結果「飛躍的な価値向上をもたらすリフォームがなされた模範的建築物」と評価され、「BELCA賞ベストリフォーム部門」に選定いただいたことは大変光栄でした。

プレゼンでは、女性会の皆様に先ずは建築の基礎知識から説明し、歴史的遺産の保存と新しい使命をスライドで具体的に解説しました。会員からは、建築の施工方法や文化性豊かな「K I I T」の存在を初めて知り、賞賛の声をいただいたことは関係者として非常に喜ばしいことでした。

改修後の
デザイン・ク
リエイティ
ブセンター
神戸
「K I I T」



瀬戸本会長が「置塩章先生はもっと評価されてしかるべき建築家だ」と言われていますが、改修を通じそのことがよく理解でき、感銘いたしました。今後も建築文化を継承する機会に巡り合えることを期待しています。

皆様には来年も引き続き事業運営へのご協力をお願いし、年末に際してのご挨拶とさせていただきます。

Ⅱ 花だより

『第91回 明石公園菊花展覧会』 明石市明石公園

明石公園菊花展覧会は大正15年に始まり全国的にも長い歴史を持つ有数の菊花展となります。

例年約300作品・1500鉢が出品展示されます。昨年は神戸菊花展覧会を取材し菊仕立の種類等を会報第398号(30年12月)で報告していますので、今回は明石特有のものを紹介します。

先ずは、明石城正門(太鼓門跡)では、地元幼稚園児の作品が展示され、濠の水面には白鳥の優雅な姿が見えます。城壁を入ると、初代明石城主「小笠原忠正」と正室「五姫」の菊人形の出迎えを受け、そして、全国的にも珍しい三重櫓の異櫓、^{たつみ}坤櫓を背景とした展示ブースへと進み、明石城ならではの菊花展の演出となっていました。

この菊花展は10月19日から11月11日まで開催され、例年概ねこの時期のようです。



立懸崖鉢 (展示案内板より。以下同じ)

別名杉づくりともいわれる作り方です。きっちりと三角錐に作り上げ、足元から先端まですき間なく花を咲かせる技術を競い合います。先端よりも底面の芽をそろえ咲かせることが難しいといわれます。



特作 (ミニ特作) 花壇

大菊、小菊、その他各種の菊を自由に組み合わせることができ、また形態も自由なことからこれまでにない新しい発想による色々な花壇構成の作品となっています。



《 5 頁に続く 》

Ⅲ 会員寄稿『田園の唄・三木鉄道』 (株)岡工務店 取締役副社長 岡 澄彦氏 ((一社)兵庫県建築会 理事)

三木鉄道株式会社は、第三セクターとして2008年3月まで運営していた鉄道会社である。

元々の開業意図が貨物輸送であり、当時の物流ルートであった美蓑川の舟運を代替する目的で加古川・高砂に向かって線路が敷かれたため、1916年の開業当初から旅客輸送は僅少であった。

1937年に現在の神戸電鉄粟生線が開業すると京阪神方面への旅客流動はさらに減少、戦後の貨物輸送廃止後はジリ貧となっていた。1968年には赤字83線に選定され、また1981年には第一次特定地方交通線に指定された。そして1985年、冒頭のとおり、三木鉄道へと転換された。

三木鉄道が運営していた三木線は、2002年までは日本の第三セクター鉄道の中で、営業距離が最も短い鉄道(8駅6.6km)とされていた。元々4駅だったが、三セク転換後により利用しやすいよう簡素な構造の駅を4駅新設しているので、駅間は短い。1時間に1本か2本の単線運行でワンマン運転を実施していたので交換可能な駅は途中になく1本の列車が線内を往来していた。

小生が姫路の飾東町への抜け道として鉄道と並走する県道20号線を走行していたことがあり、稀に単行のレールバスを見かけると「まだ残っているのか」という感じで、特別な思い入れも当時ではなかったが、存続が危ぶまれたときに初めて価値がわかるというものであった。

三木市から神戸市内へ向かう旅客は神戸電鉄粟生線を利用し、加古川線に接続する三木線は旅客の動きに合っていないことから、三セク転換後も慢性的な赤字に陥っていた。効果的な収支改善策も全く取れないまま、2006年には営業係数が313.4(この係数は100を越えれば赤字を示す)となった。

当時の三木市長は「市の歴史的遺産である」として引き続き路線を存続させる意向を示し、経営改善のため三木鉄道の三木駅と約800m離れた神戸電鉄三木駅を連絡することで利用客の増加をはかることを構想。JR北海道が開発中であった、線路と道路の両方を走行可能なデュアルモードビークルの両駅間への導入を検討していた。

しかし、経営支援を行っている三木市で2006年1月に行われた市長選挙の争点となり市の財政再建のため「三木鉄道の廃止」を公約の一つに掲げ

て当選した藪本新市長(当時の)が社長に就任した。その後9月から10月にかけて行われた市民アンケートでも廃止賛成が70%の結果が出た。また外部監査の結果でも経営の継続は困難であり、今後20年間の存続に必要な支援額が20億円に上るとの試算が11月に出された。これらを受けて対策協議会が「廃止してバスで代替する」との結論を確認。2007年3月の市議会及び4月の三木鉄道の取締役会で全線の廃止が正式に決定された。

同年7月から休日限定の貸し切り列車プランやイベント列車の運行、三木駅での関連グッズの販売もファンの話題となった。企画として非常に的を得ていた内容だけに実に惜しい。

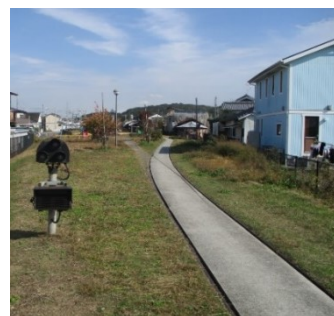
2008年3月から「Thanks ありがとう三木鉄道1916ー2008」と示した惜別ヘッドマークが所属の全車両に掲げられた、読みは正しく、同年3月29日から31日は名残を惜しむ鉄道ファンや沿線住民が大量乗車することによる混雑が予想されたため、警備員70人体制で備えたというから何となく皮肉なものである。

2007年7月に市長が廃止届を提出し、2008年4月に全線が廃止という早さであった。最終日には多くの人々が来場、同日の15時に三木高校吹奏楽部が「いい日旅立ち」を演奏する惜別イベントも実施された。22時52分、営業最終列車が三木駅に9分遅れで到着したことを以て列車の運行を終了したのち、23時5分、乗客からの花束贈呈や鉄道部長の挨拶があり、24時を最後に三木駅の扉が閉じられた。

この流れは、谷専務理事が以前に寄稿された「鍛冶屋線の最終日」とよく似ている。旧国鉄から三セク転換して存続した路線では5例目、うち会社の名前と共に消滅する全線廃止のケースは4例目となった。

廃止後・・・三木鉄道(三木市域)の廃線跡は「別所ゆめ街道」として整備され、2018年5月13日に完成式典が行われた。三木駅は三木鉄道祈念公園に生まれ変わり、後世に存在を伝える役目を担っている。そのほとんどの区間が遊歩道として歩行者の通行が可能になっている。石野、別所の両駅はホームと線路を生かした休憩施設となっており、老朽化した駅舎は解体されて跡地に駅舎風の建物が建てられている。廃線になれば軌道敷は遊歩道か公園に再利用されるのが常だが、ここまで立派に

軌道敷は遊歩道
として残されている。



残された廃線跡も珍しい。



鉄道記念公園は三木鉄道の功績を伝承する。



別所ゆめ街道の案内図。

僅か 6.6 km でも三木市域と加古川市域にまたがるが、廃線後に 80m にわたってレールと枕木が不心得者による盗難にあっている（もちろん、小生ではございませんが、この辺りも既出の鍛冶屋線廃止と同じにおいがしますね）。

廃止の日を迎えた 3 両の車両は現在、同じ三セクの樽見鉄道、北条鉄道、ひたちなか海浜鉄道に譲渡がそれぞれ決まって、二度の勤め先に「再就職」している。日本のどこかに私を待っている人がいるというのは、本当に歌のとおりだったのだろう。よって、廃止による廃車は 1 両も出していない。

古巣と同じような田園風景を、今も走り続けていることだろう。黄金色に実った 11 月の稲穂を背景にしながら。



勾配標、場内信号機、キロポストなど距離のわりに数多くの遺構が風景に溶け込むように残されているのが三木鉄道の特徴。車止めもそのひとつ。（三木駅に保存された車止めに備わる解説より）

「三木鉄道では、営業開始から廃止の日まで安全運行され、幸いにもこの車止めが役に立つことはありませんでした。」と記されている。まさに安全対策を体現したモニュメントである。

余談だが、現地（三木鉄道記念公園）を取材中、隣接施設の管理者からこの廃線跡が地域振興にひと役買っていることや往年の思い出話を聞かせて頂けた。



東の起点を示す車止めと三木駅。



三木駅には場内信号機の遺構が残る。

花だより（3 頁からの続き）

ドーム菊花壇

小菊を丸くドーム状に仕立てますが、「ぼさ菊」「玉菊」等の呼び名があります。



IV 見学レポート

ひょうごの景観ビューポイント150選 三木市：湯の山街道界限（NO.16 芝町公民館付 近、NO.17 旧湯の山街道の大塚薬師堂前）

今回の景観ビューポイントは三木市の歴史的まち並をお伝えします。

そもそも三木といえば、仕事も関連した東部の住宅団地や、子、孫を連れての郊外型リレーションあるいはゴルフといったところで、旧市街地の街道の古いまち並みは全くのイメージ外でした。しかし、よくよく考えてみれば、別所氏の城下町で、古くから金物工業で栄えてきたまちであり、そういう歴史的遺産が残っていて当然で、大いなる認識不足でありました。

取り敢えず、見学当日に市役所の観光課に出向いて、観光案内等のパンフをいただき、数ある案内から俄か勉強で、「みき歴史・美術の杜 ミュージアムマップ」で紹介されている「城下町フリーコース」（8頁に掲載）を参考に見学することとしました。

まずは、湯の山街道について。

有馬温泉に通ずる湯の山街道の整備は平安時代に始まるとされる。その後、戦国時代に三木城攻めの羽柴秀吉が兵卒のけが人に有馬の湯を使い野風呂で療養させたと伝えられ、軍師竹中半兵衛も病氣療養にこの街道を通ったと言われている。江戸時代には、参勤交代や西国からの湯治客が往来した。

スタートは、コース案内とは逆にとり、駐車場を確保しやすい観光協会のある玉置住宅からスタートした。これが結構正解であったと思える。

○旧玉置家住宅（本町2丁目2-17）



北蔵（左）、離れ座敷（中央）、内蔵（右奥）

ひめぢ道から湯の山街道へと続く接点にある1826年（文政2年）建築の国登録有形文化財。上州館林藩の飛び地領であった三木町に、藩の財政立て直しのため「切手会所」（今の紙幣、小切手と金銀を交換）が1823年に開設され、旧玉置

家住宅に移転された。1875年（明治8年）に僧侶から還俗した初代「玉置」氏が取得する。

現在、三木市が保有し観光交流施設として展示活用され、当時の時代背景を知る貴重な「襖の下貼り文書」などの史料が展示されている。

○ひめぢ道・黒田清右衛門商店周辺（本町2丁目3-26）



玉置住宅の管理・案内の方に教えられ、ひめぢ道を少し南に向かうと、江戸時代末期の建設とされる三木特産金物の卸問屋「黒田清右衛門商店」がある。国登録有形文化財として文化審議会から文科相に答申された。（2019. 7.24 付神戸新聞NEXT）この周辺には歴史的な建造物が軒を連ねている。案内にはあまり出ていないようだが、周辺のまち並を含め一見の価値がある。

○ナメラ商店街（本町2丁目）

玉置家住宅前の道路を渡ると「湯の山街道」の表示があり、細い道路を左へと進むとナメラ商店街（滑原）へと導かれる。ご多分に漏れず地方都市の商店街となっているが、れっきとした湯の山街道の名残である。

この商店街の北入口に階段が設置されており、昇ると三木城跡へと至る。

○三木城跡・三木合戦



「ようこそ三木合戦の地へ」の派手なアニメ看板。右の階段で三木城跡へ登れる。

城跡には天守閣跡、長治の石像、辞世の句碑、かんかん井戸等の遺構や記念碑が整備、保存された公園となっている。

三木城は、戦国時代には東播磨8郡の守護代であった別所氏の居城。城主別所長治は、織田方で

あったが羽柴秀吉と意見が合わず、信長と対立していた毛利氏と組むことになった。

秀吉は三木城を攻略するため食糧ルートを塞ぎ、世にいう「三木の干し殺し」を行う。餓死者数千人を出し、長治は残兵を救うため、秀吉の降伏勧告を受諾し、妻子一族とともに自害する。

この後、秀吉は町の復興のため、土地の税を免除する「制札」を出し、江戸時代にも引き継がれてとりわけ金物の町としての繁栄の礎となる。

(「三木合戦物語」：三木市立三木歴史博物館編参照)



上：正面は本丸跡、左に長治公石像

城跡公園には「金物史料館」、二の丸跡には「みき歴史史料館」「堀光美術館」が整備されており、それらを見学の後、再び階段を降りて湯の山街道へ戻り、150選景観の府内・芝地区へと向かう。

○景観形成等住民協定(2015年6月20日県認定)

芝町と府内町の湯の山街道沿いの住民らにより、兵庫県景観条例に基づく景観づくりのルールを定め同協定が締結された。歴史的な街道では初めてのもの。

基本ルールは、勾配屋根、和瓦葺き、外壁の板張りや漆喰塗り、開口部は格子戸にするように努めるものである。(有効期間は10年間)

やはり、こういう住民の強い意志があって歴史遺産が保存されることになるのだろう。

○舟板塀・福太酒造(府内町2-21)



福太酒造の蔵の外壁は舟板塀仕様となっている。江戸時代三木川(美囊川)は川船(高瀬舟)による

諸物資の運搬が盛んであったが、明治になり馬車による陸運が中心になった。その当時の川船の底板を利用したもの。

○志るしの杉玉・稲見酒造(芝町2-29)



1898年(明治22年)創業、山田錦による長期熟成酒を醸造。新酒が出来た時に玄関に杉玉を飾り、これには奈良三輪神社の杉が使われる。

この建築物は、平成22年景観形成重要建造物に指定。

○三宅徳松商店(芝町1-25)ほか



平成22年景観形成重要建造物に指定。

この後、ビューポイントの薬師堂(見学当時の9月27日には擁壁の一部崩して補修工事中)からの景観を確認し、少し先にある宿内を防御する「鍵型の辻」を見て、駐車場の都合もあって見学を終えることとした。(本来の湯の山街道見学コースとすれば、ここからさらに東へ進み、神鉄恵比須駅までが一応のコースとなっている。)



お昼を挟んで約4時間。最初はビューポイントの30分もあればと踏んでいたのが、なかなかどうして見どころがたっぷりあり、全部を紹介できていませんが、城下町、旧街道の歴史の重みを感じたぶらりまち歩きでした。



ひめぢ道黒田商店の向かいの古民家の
越屋根：煙だしに屋根をまたいで一段高
く設けた小屋根



三木の袖卯建（稲見酒造）
：三木独特の饅頭造形



志るしの杉玉
：稲見酒造
香高い新酒が出来た時に蔵元の
玄関に飾られる。（奈良・三輪
神社の杉）



虫籠窓（稲見酒造前の古民家）：中二階
の換気窓、配列、意匠に左官職人の技術

城下町フリーコース

モデルコース 約4km

1時間20分
（見学時間を除く）

所要時間の目安

起点 恵比須駅

15分

1 湯の山街道

15分

2 三木城跡

10分

3 旧玉置家住宅

20分

4 三木鉄道記念公園

20分

終点 三木駅



この「城下町フリーコース」は「みき歴史・美術の杜 ミュージアムマップ」から三木市の承認を得て掲載しました。

V お知らせ

◎ 会員の受章（敬称略）

○旭日小綬章（正会員）

川嶋 実 兵庫県建設業協会 会長
（株）川嶋建設 代表取締役社長

○瑞宝小綬章（特別会員）

石原憲一郎 元兵庫県立淡路景観園芸学校長
（（公財）兵庫県園芸・公園協会顧問）

○黄綬褒章（正会員）

山本康一郎（株）山本設計代表取締役社長
吉川 壽一（株）吉川組代表取締役社長

ご受章誠にありがとうございました。今後、益々のご活躍をご祈念申し上げます。

◎ 会員の受賞（※印は当会推薦、敬称略）

○兵庫県優秀施行者賞

池田 佳志	宮崎建設（株）
稲森 博哉	前川建設（株）
鹿島 則彦	（株）ノバック
橋本 寛一	（株）川嶋建設
不動 博之	（株）森長組
※前川 直也	（株）柄谷工務店
三谷 尚義	（株）柄谷工務店
※美濃谷佳宏	丸正建設（株）
山口 真一	（株）池内工務店
※山田 大輔	双和化学産業（株）



○兵庫県若手優秀施行者賞

川村 真吾	丸正建設（株）
齋藤 竜也	（株）森長組
南部 佳佑	（株）池内工務店



○ さわやかな県土づくり賞

（株）柄谷工務店 （一）高田久々知線交通安全
歩道リニューアル工事（その5）

ご受賞おめでとうございます。一層の技術の研鑽に励まれ、益々のご活躍をご祈念申し上げます。

◎神戸市庁舎の移転（建築住宅局）

庁舎の建替えに伴い8月より次へ移転しました。

☎651-0083

神戸市中央区浜辺通2-1-30三宮国際ビル

☎078-331-8181（従前の代表番号）

各移転先住所はHP「本庁舎再整備に伴う関係部局の移転」からご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/>

仮庁舎配置状況

<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/13894/iten.pdf>

◎ 行事予定

1 新春会員交流会（兼第480回月例会）

日程 令和2年1月14日（火）
会場 神戸三宮東急REIホテル

2 第481回月例会

日程 令和2年2月6日（木）
会場 西村屋和味旬彩
テーマ 化学物質に汚染されつつある
現代社会（仮題）

講師 馬場 雅彦氏

近くご案内予定です。

3 第482回月例会

日程 令和2年3月12日（木）
会場 神戸三宮東急REIホテル
テーマ 日本文化の歴史的特質と現代
～日本文化の源流としての中国文化を
ふまえて～

講師 清水 稔氏（元佛教大学副学長）

ご案内は1月中旬頃の予定です。

◎事務局だより

○昨年の漢字は“災”で、水害、地震、台風に襲われた年でしたが、今年もまた様々に心を痛める災害が生じました。特に台風の強大化は、思わぬ災禍と多くの犠牲を生み、今なお復旧、復興に向けての取り組みを強いられているところで、これより寒さに向かう中、復興の早からんことをお祈りします。

○今年も会報の発行にあたり、多くの方々にご協力をいただきました。連載の「神戸秘話」や「ぶらりまち歩き」、県・市、役員・会員からの寄稿等々により業務関連はじめ広範囲に情報提供を行ってまいりました。お陰様で2月には記念すべき400号を迎えることができました。

また、副会長の挨拶にもありますが、月例会でも大変ご協力をいただいています。

事業運営へのご協力に感謝申し上げます。年末にあたってのご挨拶とさせていただきます。

事務局：谷 純夫、石井滝実子

電話：078-996-2851

FAX：078-996-2852

Email：archit-k@axel.ocn.ne.jp

三田建設技能研修センター

三田建設技能研修センターは昭和 57 年 7 月、建設現場で働く人々の研修施設として設立され、これまでに 70,800 人以上の修了生を送り出してきました。建設企業の競争力を確保する上で、建設現場従事者の技術・技能の向上は最重要課題となっています。三田建設技能研修センターをフルに活用し、キャリアアップ、スキルアップを図ってください。

建設労働者緊急育成支援事業

未就業者の建設業への入職を促進するため、平成 29 年より地方拠点として、建設労働者緊急育成支援事業を実施しています。

技能士コース

鉄筋施工科、型枠施工科、とび科、配管科の 4 コースで、修了者は技能検定の学科試験が免除になります。各コースとも、通学制と通信制があり、遠距離からの受講もスムーズに資格が取れます。

専門コース

新入社員実務研修（建築、土木技術）測量技能、土木積算の研修の他、各種の技術検定の受験講習など施工者向けのコースが多く、建設関連企業の優秀な教官から現場でつちかった知識と経験を活かした丁寧な指導が受けられます。

技能講習

当センターは兵庫労働局長登録教習機関です。建設機械の運転には（免許証）または、（技能講習修了証）が必要となります。夏場冬場の厳しい時期には待機所も備え、快適に訓練が受けられます。

令和元年度 後期受講生募集のご案内

職長・安全衛生責任者研修	土日 令和 2 年 2 月 29 日～3 月 1 日	14,500 円(税別)	C P D S 14 ユニット
刈払機取扱作業安全衛生教育	土 令和 2 年 2 月 29 日	9,000 円(税別)	C P D S 3 ユニット
酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育	土 令和 2 年 2 月 22 日	8,000 円(税別)	C P D S 3 ユニット
足場の組立て等作業主任者技能講習	土日 令和 2 年 2 月 15 日～16 日	10,000 円(税別)	C P D S 7 ユニット
車両系建設機械運転技能講習（解体用）	令和 2 年 2 月 5 日	18,000 円(税別)	C P D S 4 ユニット
車両系建設機械運転技能講習（整地・運搬等用）	令和 2 年 2 月 3 日～ 4 日	37,000 円(税別)	C P D S 9 ユニット
小型移動式クレーン運転技能講習	12 月 5 日～ 7 日 令和 2 年 1 月 15 日～17 日 2 月 13 日～15 日 3 月 13 日～15 日	25,000 円(税別)	C P D S 11 ユニット
玉掛け技能講習	12 月 18 日～20 日 令和 2 年 1 月 14 日～16 日 2 月 6 日～ 8 日 3 月 6 日～ 8 日	18,000 円(税別)	C P D S 11 ユニット
高所作業車運転技能講習 普通運転免許所持者	土日 令和 2 年 1 月 29 日～30 日 2 月 15 日～16 日 3 月 11 日～12 日	33,000 円(税別)	C P D S 9 ユニット
フォークリフト運転技能講習 4 日コース 普通運転免許所持者	土日 令和 2 年 1 月 20 日～23 日 土日平日 2 月 1 日～2 日、8 日～9 日 土日 2 月 22 日～25 日 土日 2 月 29 日～3 月 1 日、7 日～8 日	28,000 円(税別)	—
フォークリフト運転技能講習 2 日コース 大特免許所持者	土日 令和 2 年 2 月 22 日～ 23 日	20,000 円(税別)	—

三田建設技能研修センター

職業訓練法人 近畿建設技能研修協会

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘 6 丁目 1 番地

tel (079) 564-4745 fax (079) 564-6058

E メール info@kensetsu-sanda.ac.jp

三田市は阪神地域にあり、高速道路等交通の要衝の地。無料駐車場完備です。

ホームページで全容を紹介しています。

またホームページから申込書がダウンロードできます。

三田建設技能研修センター

検索

広報コーナー：住宅再建共済制度

『兵庫県住宅再建共済制度』の詳細は次からご覧いただけます。
 兵庫県住宅再建共済基金HP → <http://phoenix.jutakusaiken.jp/>

安心をカタチに 兵庫県住宅再建 共済制度 フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した 住まいの再建に備えて 兵庫県が実施する共助のしくみ！

県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に		県内の住宅（借家含む）にお住まいの方に
住宅再建共済	一部損壊特約	家財再建共済
年額 5,000円 で 再建、補修時等に 最大 600万円 給付！	年額 500円 で 補修時等に 最大 25万円 給付！	単独加入 年額 1,500円 で 住宅とセット加入の場合 年額 1,000円 で 購入・修復時に 最大 50万円 給付！
※半壊（損害割合 20%）以上	※損害割合10%以上20%未満	※床上浸水・半壊以上

※ 住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「リ災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
 FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 検索 加入申込書はダウンロードできます



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局（簡易郵便局除く）にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です！